

# Life-Cam ライフ・カム

モノを噛ませて楽しむカメラ



# Concept

## モノに《きっかけ》を込める。

デジタル化に伴って  
カメラはより大容量かつ大量の写真を  
撮影することが容易になった。

しかし、価値ある写真の多くは  
大量の写真の中に埋もれてしまっている。

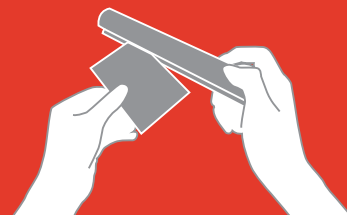
価値ある写真を見つけ出すための  
《きっかけ》をつくるデバイスを提案する。



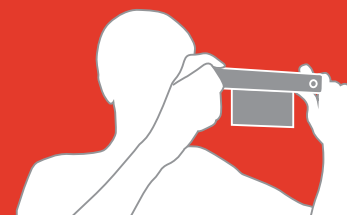
# Photo



撮影したくなったら、  
Life-Cam にモノを噛ませます。



噛ませると電源ONに  
モノがディスプレイに早変わり！



ねらいを定めて、  
シャッターボタンを押すと撮影完了です。

撮影した写真には  
誰が・いつ・どこで・何を撮影したのか  
だけでなく…、

**噛ませたモノの  
色や凹凸、文字情報から  
メタデータが抽出されて残ります。**

# View



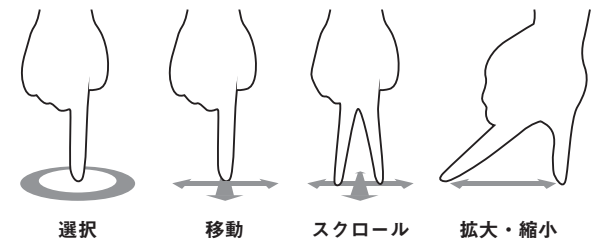
1. モノを噛ませて再生ボタンを押す。
2. モノのデータを抽出。
3. 大量の写真の中からそのデータとの関連性がより高い写真が選択される。
4. 超短焦点プロジェクターから平面に投影し、モノを囲むように表示される。

噛ませたモノと関連性の高い  
写真が投影される。

例：金沢市のチケット

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 抽出したデータ | 金沢市<br>平成 24 年度 7 月 7 日<br>緑色 |
|---------|-------------------------------|

操作方法：投影面に触れて操作する。

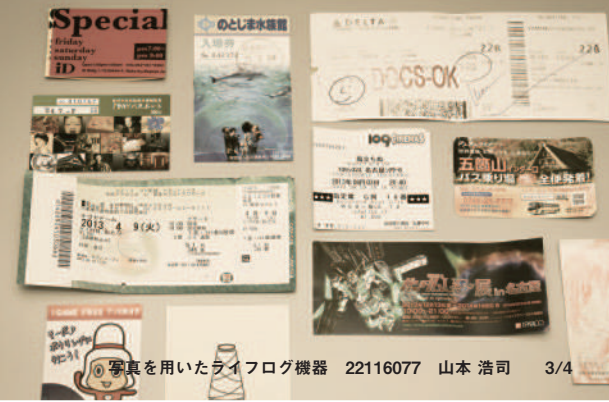


# Log

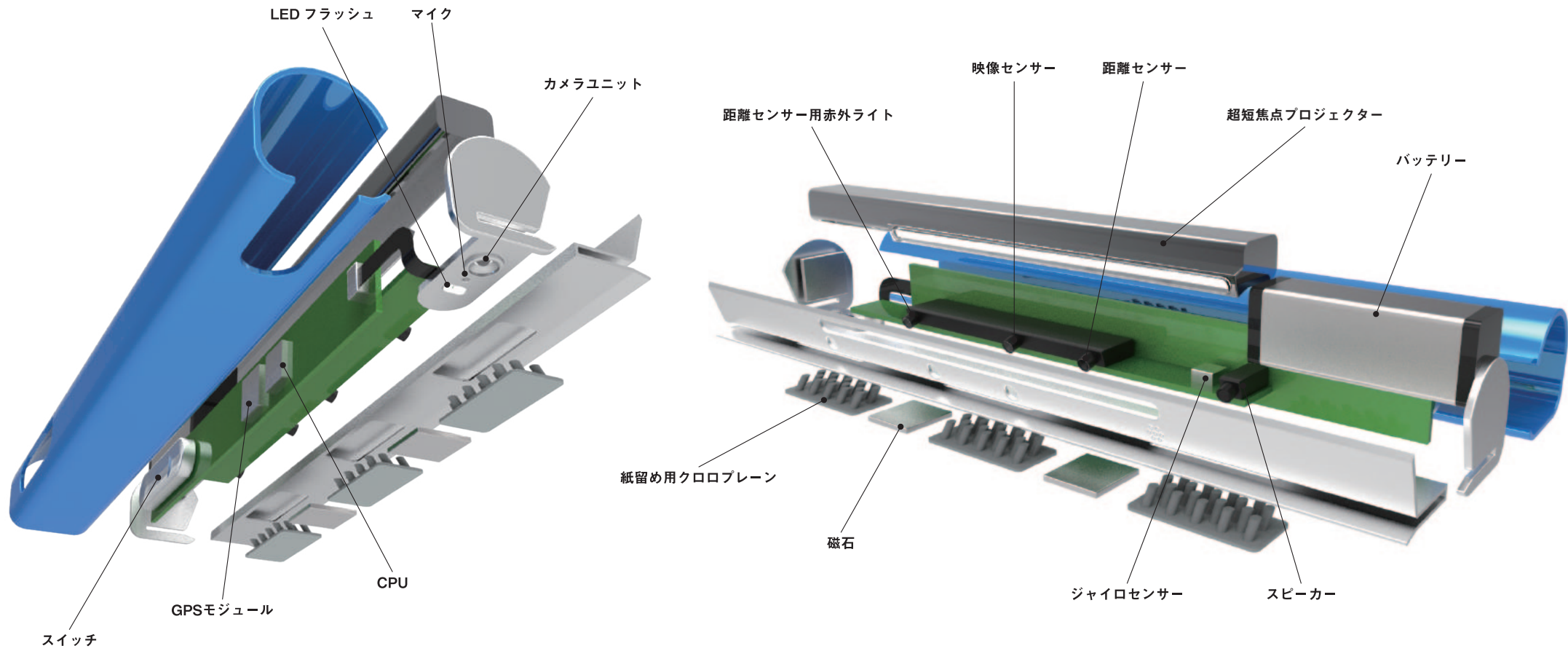
大量に撮影された写真は、目的とする画像に辿り着くまでは容易であるが、個人が忘れていた写真を大まかに探すのに適していない。対して Life-Cam の実体のあるモノを噛ませる手法は、直感的に写真を探ることが出来る。

色々なモノを噛ませて、  
思いもなかった写真や忘れていた写真を再発見し、  
人生を振り返る《きっかけ》をつくる。

ああ～こんなことあったなあ！  
噛ませてみよう！



# Function



# Drawing

